

榛東村 農業委員会だより

第12号

発行：榛東村農業委員会

住所：〒370-3593
群馬県北群馬郡
榛東村新井790-1

TEL：0279-26-2585



enjoy SHINTO 村づくり祭で販売するさつまいもを収穫しているところ

新年のご挨拶



榛東村農業委員会 会長 柳岡 稔

新年あけましておめでとうございます。村民の皆様方には、平素から農業委員会の活動に格別の御理解と御協力を賜り衷心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、トランプ関税政策により、関税率が上昇し、日本の農産物は米国市場では不利となり、他国の農作物との競争が激化しました。このため日本の農業者は新たな市場開拓や輸出先の多様化を模索するなど、対応策が求められた一年でした。秋には女性初の首相が誕生し、日本の社会や政治に大きな変革をもたらす可能性があります。農業施策に関しては、農業の担い手不足への対応や技術革新、そして女性の活躍推進のためにも多様な視点からの柔軟なアプローチに期待したいです。

鈴木農林水産大臣は、「スマー

ト農業のような負担が少なく効率的な農業を進めることで、若い方や新規参入者にとって、農業を魅力ある選択肢としていきたい。」と言っています。

榛東村においても農業従事者の高齢化が進み後継者不足が深刻な問題となっています。また、農業生産に欠かせない肥料、飼料等の農業用資材についても、国際情勢の影響、円安の影響などにより高騰が続いており、農家の経営を圧迫しています。そうした中、村においては、農業のデジタル化や効率化を促進するための補助事業の拡充等を通じて農業に参入しやすくする環境を整える必要があると思います。我々農業委員会も、現場の声を施策に反映させる役割がありますので、指導やサポートの強化、新規就農者へ地域の特性を生かした農業振興施策の提言をして榛東村の農業発展の努力をして行きたいと思っています。

結びに本年が皆様にとりまして、良い年となりますことを心から御祈念申し上げ新年の御挨拶いたします。

農業委員

第23期農業委員会委員を紹介します



会計
萩原 明美
(3区)



会長職務代理
小山 伸一
(9区)



会長
柳岡 稔
(4区)



飯塚 綾子
(10区)



内海 優司
(8区)



高橋 裕
(7区)



星野 一郎
(1区)



村上 誠一
(18区)



田嶋 久実
(16区)



一倉 伸一
(13区)



真下 治彦
(11区)

農業委員会の活動内容について

農業委員

- ・ 農地の売買・貸借の許可
- ・ 農地転用案件への意見具申
- ・ 農地の現地確認
- ・ 紛争の調停・仲介

農地利用最適化推進委員

- ・ 担い手への農地利用の集積・集約化
- ・ 遊休農地の発生防止・解消
- ・ 新規参入の促進
- ・ 農地の現地確認

榛東村では、委員の人数が少ないことから、業務を完全に分割せずに、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携しそれぞれの業務に取り組んでいます。

農地利用最適化推進委員



湯浅 幸弘
(6区)



牧口 誉詞
(5区)



岩田 悦夫
(2区)



推進委員長
立見 清彦
(12区)



大山 清巳
(19区)



金井 強
(15区)



羽鳥 静男
(10区)

農地のことでお困りの際は、お近くの委員にお気軽にご相談ください。

農地転用について

○農地転用とは

たとえば、「自分の畑に家を建てたい」、「資材置き場として畑を売りたい」という場合には、農地転用の手続きが必要です。

農地を転用する場合、または農地を転用するために所有権などの権利を設定もしくは移転する場合には、県知事の許可を受けなければならないことになっています。

ただし、「農用地区域内農地」、「第1種農地」などの優良農地などは、許可がない場合があります。

▼お問合せ

農業委員会事務局

(0279-26-2585直通)

農政施策について意見

令和7年12月10日に南村長に対して、榛東村の農業施策に関する意見書を提出しました。

意見項目

- ・農地の有効活用及び遊休農地の解消
- ・新規就農者に対する支援
- ・認定農業者に対する支援
- ・中小規模の農業者に対する支援
- ・鳥獣害対策の拡充
- ・地域計画の実行



第23期農業委員会 活動を振り返って

令和5年5月から、現在の体制となり、スタートした農業委員会ですが、ここでは、これまでの活動を振り返り、これからの意気込みについて、紹介していきます。

農地利用最適化推進委員

岩田 悦夫(2区)

一昨年来のいわゆる『令和の米騒動』は、農業の現状を改めて考える機会となったと思います。米不足から端を発したことです。消費者からすれば米は安い方がよい。されど農家にとっては農業経営が安定する米の価格であってほしい。農業生産の継続可能な米価はどのくらいなのでしょう。

高齢化や新規就農者が少なく、農業人口が減少しています。農業の担い手が不足すれば耕作放棄地が増え、農産物は減ってしまいます。中山間地域では、傾斜があり一つの農地面積が小さくなりさらに厳しい農業の現状があります。

推進委員の仕事は、農業・農地を守るための活動です。耕作できない農地を新しい担い手に集積し、優良な農地を守っていきたい。農地利用の集積化・大規模化により経営を安定化させたい。農業に魅力を感じ農業をやりたいという若者を増やし新規就農者への支援をしていきたい。そんな思いを持って活動しています。それは郷土しんとうの自然環境の保全にもつながります。

地区の農業委員として農地所有者の意向や状況を確認し、より良き方向へコミュニケーションを図っていきたくと考えています。お気軽に農地相談等お声をかけていただきたいと思います。



イベントレポート

第15回農業 week 見学レポート

農地利用最適化推進委員

牧口 誉詞(5区)

千葉県の幕張メッセで、令和7年10月1日(水)から3日(金)の3日間、日本最大級の農業総合展示会が開催されました。農業と畜産業界における幅広い分野を網羅する5つの展示会場で構成されていて、農業資材や機械をはじめとして、最新のスマート農業技術など、農業の未来を切り拓く製品やサービスが一堂に集結した商談展示でありました。資材高騰や人材不足といった農業が抱える課題の解決策を見つけることができる紹介展示等や、販路開拓や経営管理システムの導入検討等の、実践的な情報交換の場となっていたようです。中でも特に印象に残った、2つの展示会場の特徴と展示商品等を紹介いたします。

まず、国際農業資材展示会場においては、肥料、土壌改良材、農薬、育苗資材、包装、物流製品、鳥獣害対策資材、コスト削減に繋がる製品等を展示。注目商品は、

①ビニールハウス用遮熱ネット「SOLAMENT」(住友金属鉱山株式会社)。特徴は、光合成の光は通すが太陽光の熱は遮る。



- ② 土壌改良材「VプロテクトG」(日本タルク株式会社)。根張り向上と育成促進効果が期待される。
- ③ 獣害忌避剤「レッドガード」と植物活力材「アミノ家族」シリーズ(株式会社アルケ)。特徴は、しっかり効くが、自然由来の素材で製造されており環境に優しい。
- 次に、国際スマート農業展示会場では、スマート農業機械、農業用ドローン、ロボット、植物工場、Aーシステム等が集まり、人手不足解消や生産性向上といった課題への対応策等を展示。注目商品は、
- ① 遠隔監視制御システム「Sfumato」(株式会社オムニウム・コンチエルト)。ハウス内環境を詳細に制御できる高度環境統合制御システムである。



神奈川県大井町のマスコットキャラクターすいっぴーと
しんとうちゃん

第2回 enjoy SHINTO 村づくり祭レポート

農業委員

飯塚 綾子(10区)

今年の村づくり祭は11月9日(日)に開催されました。朝から雨模様でしたが、当日は開会式の頃には雨も上がり、来賓として小渕衆議院議員、大林群馬県議会議員、神奈川県大井町小田町長、自衛隊をはじめ、関係各位の皆様にご臨席を賜りました。

② 灌水作業省力化システム「グルンドフォスポンプ」(グルンドフォスポンプ株式会社)。高効率と省エネを両立している。



会場では、村の特産品や農産物の販売、体験コーナーや啓発・紹介展示などもあり、大勢の村民の皆様が来場していただきました。

農業委員会では、耕作放棄地を利用して、大根・サツマイモを栽培し、販売致しました。サツマイモは、購入した方から「大変甘く、おいしかった」とのお声をいただき、皆さんに喜んで頂けて大変嬉しく感じました。

また、榛東村産のお米を使ったおにぎりやなめこ汁の無料配布もあり、昼過ぎには一旦上がった雨も降り出してしまいましたが、会場は活気にあふれた村づくり祭となりました。

農業法人の紹介

榛東村内で活躍されている農業法人を取材しましたので紹介します。

持続可能な農業のために

農事組合法人群馬中央ファーム

代表理事 善養寺 俊夫さん（72歳）

農事組合法人を設立し8年。年々事業を拡大している『群馬中央ファーム』代表の善養寺俊夫さんを紹介します。

現在、役員3名と従業員10名で、榛東村内はもちろん、旧群馬町、吉岡町にわたる30ヘクタールを耕作しています（これは榛東村の耕地面積の約1/20に相当します）。稲作、ネ



ギ、蕎麦栽培を柱にされています。農家からの委託も増え、年々2ヘクタール程増えています。農業経営の安定化には規模の拡大が必要ですが、ここまでには様々な苦労があられました。

64歳までサラリーマンをされ、知人の勧めもあり農業法人を立ち上げました。今まで米価も低迷しており『令和の米騒動で一息つけました』とのこと。法人化のメリットは農業機械の購入補助や栽培助成金を得られることにありますが、農業機械の大型化や数が増えると、年間の修理代も馬鹿にならないといえます。また、生産量が増えれば、その販売先を確保しなければなりません。さらに年齢にともなう体力の減退、後継者問題は一般農家と変わりません。

経営の安定化のためには、反収の増加をはからねばなりません。地球温暖化による気候変動で高温障害のリスクが高まっている中、群馬中央ファームでは従来の品種にこだわらず、米作ではコシヒカリから収量の大きい品種への変更を進めているとのことでした。

農業の継続が難しくなった方にとって、今、中央ファームは救世主となり、委託される方が年々増えています。ただ、委託された田んぼが数年耕作されておらず、半ば土地改良するようなケースもあって大変な経験もあつたそうです。委託する際は農地が荒れる前によくお願いします。これからは、農地の賃貸借費用の軽減、さらには管理費の徴収も課題となつてきそうです。



農業は色々な要因で岐路にあります。担い手不足のなか、持続可能な農業のためには、農地の集積化・大規模化が求められており、群馬中央ファームの取り組みは、その先鞭となつています。地域の農業の活性化のためにもご活躍を期待しています。

取材者 岩田推進委員（2区）
牧口推進委員（5区）



誰もが働きたくなる農業を目指す

株式会社ストロベリーみなみ

代表取締役 南 明法さん（53歳）

村内でイチゴ農家として活躍されている『ストロベリーみなみ』代表の南明法さんを紹介します。

現在、役員4名、従業員10名がおり、経営作物はイチゴ、米、ネギ、枝豆です。榛東村内、前橋市の農地約7ヘクタールを耕作されています。

南さんは元々建築や不動産の仕事をしていましたが、16年前に就農を決意し、農林大



学校での研修、地元イチゴ農家での修行、露地イチゴや野菜の栽培、全国のイチゴ産地の栽培方法研究を経て、ストロベリーみなみとして経営を始めました。農業の業界に入って、商品単価が低いことや気候に左右されることでの経営の難しさを感じました。そこで環境制御技術を学び、イチゴ栽培に取り入れることにしました。環境制御技術の内容について聞くと、ハウス内の環境（温度・湿度・CO₂濃度、肥料の濃度など）をデータで確認して、理想の数値となるように調整していくものとことです。温度管理は、イチゴの成長点の温度をセンサーで拾うことで、ハウス内温度を計測することによってよりイチゴにとって適切な温度にすることができ、おいしいイチゴの育成に繋がっています。環境制御技術を取り入れたことで高品質なイチゴを安定して供給できるようになったとのことでした。

また、体に負担のかからない農業を目指して機械化を進めました。ネギは掘り取りから皮むき選別袋詰めまで機械で行っており、エダマメは脱莢（枝からさやを取る作業）、洗浄、Aーでの選別作業、袋詰めの一連の流れを機械で行っています。

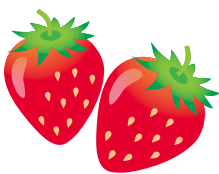
南さんは、新規就農を目指す実習生の受け入れや、学校給食にネギや米の提供、榛名女子学園や榛東中学校で農業や働き方についての講演等の活動もされており、地域農業の振興にも努められています。異業種から参入されたからこそ気付く事を改善していき、『体に負担のかからない農業、安定した生産量、安



定した経営で、誰もが働きやすく誰もが働きたくなる農業、そして、後継者も安心して引き継げる農業』を目指されています。地域農業の活性化のために活動される南さんの益々のご活躍を期待しています。イチゴシーズンの真っ最中なので、みなさんもぜひ売店に足を運んでみてはいかがでしょうか。

取材者 湯浅推進委員（6区）

飯塚農業委員（10区）





「農地パトロール
（利用状況調査）」を実施

8月末まで村内において「農地パトロール（利用状況調査）」を行いました。調査後、耕作管理がされていない農地の所有者や管理者に対し、文書及び口頭による改善のお願いと利用意向調査を行いました。

農地パトロールは、①地域の農地利用の確認、②遊休農地の実態把握と発生防止・解消、③違反転用発生防止・早期発見について重点的に取り組むことを目的としています。

全国農業新聞

全国農業新聞は農業委員会系統組織が発行する農業に関する専門紙です。農業及び農政の現状を中心に農業者の経営とくらしに役立つ情報をお届けします。

毎週金曜日発行

月700円（送料・税込み）

※令和8年4月から月900円

申し込みは、農業委員会まで

農業者年金

次の条件を満たせば加入できます。

- ・国民年金第1号被保険者
- ・年間60日以上農業に従事
- ・60歳未満

積み立てた保険料とその運用益により将来受け取る金額が決まる積立方式・確定拠出型ですので、少子高齢化時代でも非常に安定的な財政方式の年金です。

保険料は月額2万円※から6万7千円の間で、千円単位で自由に決められ、途中の見直しも可能です。（※条件により2万円未満でも始められます）

保険料は全額社会保険料控除の対象となる税制優遇があります。

詳しくは、JA窓口または農業委員会まで

令和7年度遊休農地面積【農地パトロール(利用状況調査)結果】

地目	農振法	前年度 (転用許可地除く)	当該年度 (転用許可地除く)	比較増減
田	農振地域（青地）	11,402㎡	7,596㎡	-3,806㎡
	農振除外地（白地）	-㎡	-㎡	-㎡
	計	11,402㎡	7,596㎡	-3,806㎡
畑	農振地域（青地）	70,962㎡	69,809㎡	-1,153㎡
	農振除外地（白地）	11,257㎡	7,481㎡	-3,776㎡
	計	82,219㎡	77,290㎡	-4,929㎡
合計	面積	93,621㎡	84,886㎡	-8,735㎡
	筆数	89筆	73筆	-16筆